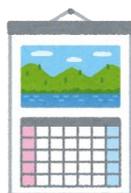


校報かめのこ

福生六小ホームページ <http://fussa-6e.hs.plala.or.jp/>

か	考える子
め	めげない子
の	伸びる子
こ	心豊かな子



今日は何の日？

福生市立福生第六小学校
統括校長 榎並 隆博

時折、情報番組等で「今日は〇〇の日です。」と、有益なのかどうかよく分からない情報を耳にすることがあります。多くは日付けの語呂合わせが由来するものが多いようですが、調べてみると、とにかく毎日何かの記念日になっていました。しかも、ほとんどの日が複数の記念日になっています。「へえ～」と思った日を2つ紹介しますと、「1月21日 ライバルが手を結ぶ日」という記念日があります。慶応2年1月21日、薩長連合が結ばれた日だそうです。もう一つ「7月2日 一年の折り返しの日」、これは1年365日の真ん中の日と、名前の通りそのままの記念日です。

例えば2月14日や3月14日は何となく子どもたちがそわそわしています。ある市の議会では、これらの日のチョコレート等の学校への持ち込みについて議員から質問が出ました。質問者の意図は、「こんなときくらい大目に見てあげてほしい」ということでした。

5月と6月の第二日曜日は、それぞれ「母の日」と「父の日」となっています。

「母の日」の起源は国によって異なるそうですが、日本やアメリカでは、南北戦争時に活動したある女性運動家が、家族が戦場に送られることを拒否する「母の日宣言」を発し、この女性運動家の死後、その娘が母が務めていた教会に白いカーネーションを贈ったことに由来するそうです。1907年5月12日のことだということです。

「父の日」は、母親が亡くなりその後、男手一つで子どもを育て上げた父親を称えようと、その娘が嘆願したことが由来とされているようで、1909年のことだと言いますから、もしかすると「母の日」があるなら、父親にも感謝しようとの意図があったかもしれません。

この2つの記念日は「母親」「父親」への感謝を表す日として定着していますが、いったい何に対して感謝する日なののでしょうか？あえて見方を斜めにすると、両者は共に子の保護者として、日々果たすべき責任を果たしているだけです。感謝されようと思っているわけでもありません。それでも、感謝したくなる気持ちをもつのは、自分が子どものときも、子をもつ親となっても当たり前のように続くもののようにです。

私事ですが、娘が結婚式で感謝の言葉を述べてくれました。父親が怖かったそうです。でも、習い事や部活の帰りは、いつも父親が迎えに来てくれていたことに感謝していると。季節によっては随分暗い夜道に、親が居てくれることで得られた安心感があったのかもしれない。親がそこに居るだけで得られた安心感への感謝の気持ちを、記念日に伝えるのもいいものですね。

ところで10月5日は何の日か御存知でしょうか？「教師の日」だそうです。本校PTA室の前に、こっそりとポスターが貼ってあり、私もそれを見て初めて知りました。教師に感謝する記念日として、1994年にユネスコが定めたそうですから、制定されて30年近くになります。教師はいったい何を感謝されるのでしょうか？教師の私には分かりません。教師では無い人から言ってもらわないと分かりません。